

2509blogEnding.pdf

2025.9 ブログ:「消えゆくブログサイト」、の詳細

(→ <http://www.1968start.com/M/blog/index4.html#2509b>)

## 「消えゆくブログサイト」

中所武司

### ■このエッセイのきっかけ

朝日の下記の記事(2025.9.25)にコメントする

「消えゆくブログサイト アクセス数3分の1に、運営撤退相次ぐ」

[https://digital.asahi.com/articles/DA3S16309385.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://digital.asahi.com/articles/DA3S16309385.html?iref=pc_ss_date_article)

### ■要約とコメント(→★)

- ブログサイト「gooブログ」は4月、サイトを11月で終了させると発表した。「市場動向の変化や昨今の状況を鑑み、また当社として経営資源の集中を図るため」21年の歴史に幕を下ろす。

→★当方のブログは、20年前の2005.2開始で、ほぼ同じ。

当時のタイトルと副題:

- \* 「月刊(?) ウェブログ風の寸評」
- \* 「News2olds: 知新 → 温故」

- 2019年に「Yahoo! ブログ」、2023年に「LINE BLOG」がサイトを閉じた。ユーザーが自ら他のサービスなどにデータを移さない限り、記事は消える。
- ブログサイトを閉鎖した運営会社の元担当者は「ブログの時代は終わった」と話す。広告収入でサイトの運営費をまかなう仕組みだが、「アクセス数は最盛期から3分の1程度になり、広告単価も下がっていた」「そもそも20代、30代はブログを新たに開設することはほとんどない」

→★ビジネスモデルの崩壊ということらしいが、  
中高年の利用者は、維持費負担でも続けたいのでは?

- ブログの全盛期は2000年~2005年のころ。2003年に「はてなダイアリー」が開始。「ライブドアブログ」などが相次いで参入。記事の内容も料理や育児、旅行など多岐にわたった。個人が気軽に情報発信ができるようになり、人気に火がついた。

→★当方の「月刊(?) ウェブログ風の寸評」は、2005.2 開始で、よく続いている (^~)  
<https://www.1968start.com/M/blog/indexA.html>

- 2005 年ごろから mixi、Twitter (現X) や Facebook といった SNS の台頭で、ブログの存在感は急速に薄れていった。
- 残るは「はてなブログ」「ライブドアブログ」「Ameba ブログ」「FC2 ブログ」など

### 保存議論は進まず 闘病記や被災体験…「消えるのは惜しい」

- ある利用者の男性 (53) は 15 年前、妻が乳がんと診断されたとき、検索の末に自分と同世代で妻ががんになった男性のブログを見つけ、深夜の自室で何度も読み返した。「一緒に戦っている感覚があった」と振り返る。
- ブログの価値について、国内最大級の「Ameba ブログ」の担当者は「その時しかできない体験や感情が書かれた貴重なものだ」と話す。Ameba ブログの月間利用者数は 2900 万人、累計記事数は 28 億に及ぶ。「セキュリティーやシステム維持の障壁も多々あり」と語る。
- フランスやデンマークでは、法定納本として多くのサイトが自動的に保存されている。ただし、権利上の問題からアクセスできるのは研究者など一部の人間に限る。

→★これも永久保存は難しいのでは？

記憶容量の増大と記憶媒体の寿命への対応が難しいのでは？

- 日本では、**国立国会図書館**の 2004 年の答申では、ブログなどネット上の「ネットワーク系電子出版物」は納本制度に組み入れるべきではないと結論づけた。後に電子書籍・雑誌は対象となり、2019 年から著名人などのブログアーカイブも開始。対象は選ばれたごく一部で、40 超にとどまる。
- 専門家は「コストをかけて保存しても価値があるかどうか 100 年後にしかわからない。事業者による保存は負担が大きすぎるので、まずは議論するべきだ」と指摘する。

→★墓じまい後の永代供養のように、有料で一定期間の保存サービスは考えられるかも。

以上